

HADANO

秦野市

市制施行70周年市勢要覧

水とみどりに育まれ
誰もが輝く暮らしよい都市



秦野市市制施行70周年市勢要覧

発行：秦野市

〒257-8501 神奈川県秦野市桜町1-3-2

TEL：0463-82-5111(代表) FAX：0463-82-6793(代表)

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

発行日：令和7年(2025年)11月

編集：秦野市政策部総合政策課

協力：一般社団法人秦野市観光協会

制作：株式会社 武揚堂



水とみどりに育まれ 誰もが輝く暮らしよい都市

A City Nurtured by Water and Greenery, Where Everyone
Shines and Lives in Comfort



Contents

ごあいさつ

2… 特集 HADA NOTE

Chapter1

4… 70年の歩み

Chapter2

8… アクセスの良さを生かした産業振興

Chapter3

12… 子育て世代に選ばれるまち

Chapter4

16… 地域を彩るイベントと文化

Chapter5

22… 自然で感じる四季と地域資源の魅力

Chapter6

28… はだのふるさと大使特別企画

Chapter7

30… 市内8地区の個性と魅力

34… 数字で見る秦野市

36… 資料編

40… 秦野市全図



秦野市長 高橋昌和

ごあいさつ

令和7年（2025年）1月1日に、秦野市は市制施行70周年の節目を迎えました。これまで、秦野市の礎を築いてこられた先人たちに深く敬意を表するとともに、日頃から本市を支えてくださっている市民や事業者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

秦野市は、市域北側に広がる表丹沢の豊かな自然と秦野盆地の地下に広がる天然の水がめに蓄えられた豊富な地下水、首都圏への優れたアクセスを有する暮らしよいまちです。

こうした地域資源を生かしながら、「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」の一体的な取組みや、結婚・妊娠・出産・子育て期からこどもたちが社会にはばたくまで、切れ目のない支援の充実による「女性とこどもが住みやすいまちづくり」を進めています。

社会経済情勢が日々変化する中で、人口減少や少子超高齢社会の到来など、地方自治体が直面する課題は複雑かつ多様化しています。そのような中、本市ならではの魅力を生かした取組みを着実に進めることで、「行ってみたい」、「住んでみたい」、「いつまでも住み続けたい」と、誰もが魅力を感じる「全国屈指の森林観光都市」を目指してまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

Message from the Mayor

On January 1, 2025, Hadano City celebrated its 70th anniversary since its founding. We deeply respect the pioneers who laid the foundation of Hadano City and express our heartfelt gratitude to all residents and businesses that support our city. Hadano is a vibrant city with abundant natural resources: lush landscapes in Omote-Tanzawa, which stretch across the northern part of the city, an abundance of groundwater stored in natural reservoirs beneath the Hadano Basin, and convenient access to the Tokyo metropolitan area.

While making use of these local resources, we are moving forward with integrated initiatives to develop the charm of Omote-Tanzawa and create a vibrant environment around four Odakyu Line stations. Moreover, we are working to create a city where women and children can live comfortably by providing comprehensive support from marriage and childbirth through the various stages of raising children until they become active members of society.

Amid rapidly changing social and economic conditions, local governments in Japan are facing increasingly complex and diverse challenges, such as a declining population and an aging society with a declining birthrate. In response, Hadano will continue to focus on initiatives that celebrate our unique strengths, aiming to become one of Japan's premier forest tourism destinations—a city where people want to visit, live, and call home for generations to come. We kindly request your continued support and collaboration as we work together toward this shared vision. Thank you.

Masakazu Takahashi, Mayor of Hadano City

秦野市
Hadano City
面積：103.76km²

秦野市は神奈川県央の西部に位置し、丹沢の自然と名水に恵まれた暮らしやすいまちです。小田急線や高速道路でのアクセスも良く、都市の利便性と豊かな環境が調和しています。昭和30年（1955年）に市制施行し、現在は約16万人が暮らしています。

- ・海外姉妹都市：パサデナ市（アメリカ合衆国テキサス州）
- ・海外友好都市：坡州（パジュ）市（大韓民国京畿道）
- ・国内姉妹都市：諏訪市（長野県）

HADA NOTE

まちに寄り添う、暮らしのひとこと

暮らしの中に、秦野の"ちょうどいい"があふれてる。

私たちが暮らすこのまちには、当たり前のように、実はとても特別な日常があります。

こどもの声が響く通学路、湧き水が流れる歩道、週末に立ち寄るお気に入りの直売所、季節の行事。そんな小さな"いいね"を、市民の声でつづってみました。

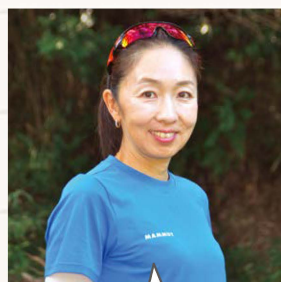
「HADA NOTE」は、このまちをもっと好きになるきっかけをあなたにお届けします。

『このまちでよかった』を、集めました。



商業施設やこどもを遊ばせる場所も多くて、自然が多いところも気に入っています。

公園利用者

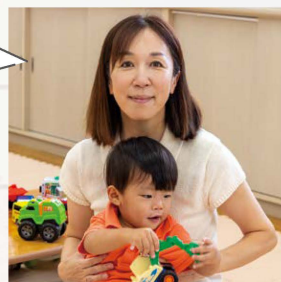


田舎すぎず、都会すぎず。「ちょうどいい」がここに 있습니다。湧水や里山があるところが魅力だと思います。

森林セラピーガイド

家から富士山が見えるし、子育てにとても良いところです。

子育て支援センター利用者



教員として働きやすいです。夏でも水道水が冷たいところがうれしい！

教員



移住してから2年。全国を転勤してきましたが、自然が沢山あり住み心地が良いまちです！趣味を通じてコミュニティ作りや仕事をしています。

移住者

やはり水道の水はおいしいですね。広い公園も山も緑もあり、いいところです。

公民館利用者



秦野のいいところは澄んだ湧き水もあるし、水だね。

商店会役員



秦野戸川公園によく行きます。ちょっと道を入ると自然豊かなところが好きです。

子育て支援センター利用者

自然が身近にあり、住みやすいです。環境の良いところが安心できます。

公民館利用者



東京に近く、小田急線が1時間に5-6本という高頻度で走っていて魅力です。

高齢者サロン利用者



その他の声

地域の人のつながりが密着していいなと感じる。
自然の中でウォーキングしたり、山登りしたりできるのも秦野の魅力。
イベントも多く、特にたばこ祭りが大好き。
自宅の窓を開けたら、うぐいすが鳴いていて最高。
住民が優しくて親切。車が道をすぐ譲ってくれる。(東京から移住)
空気が澄んでいて、気持ちがいい。(東京から移住)

HADA NOTE

良いところランキング

- ① 水がきれい、おいしい
- ② 自然が豊か
- ③ 住み心地が良い

市勢要覧制作スタッフ調べ

市内でのアンケートに快くご協力をいただいた多くの皆様、ありがとうございました。

70 Years of History

70年の歩み

昭和30年（1955年）、二町二村が合併して誕生した秦野市。
市民の手によって育まれてきた伝統や文化を大切にしながら、幾多の出来事を乗り越え、一步一步着実に歩みを進めてきました。



1 昭和30年(1955年)頃
市制施行当時の旧市庁舎



新市庁舎落成記念式典



2 昭和44年(1969年)
新市庁舎遠景

HADANO HISTORY
1955 >>> 2025

3 昭和56年(1981年)
東名高速道路秦野中井IC開通



4 昭和59年(1984年)
葉タバコ耕作に幕



5 昭和60年(1985年)
「秦野盆地湧水群」が全国「名水百選」に選定



6 平成元年(1989年)
まほろば大橋が完成



7 平成10年(1998年)
ロマンスカー秦野駅停車記念式典



8 平成14年(2002年)
秦野赤十字病院が立野台に新築移転



- 昭和 30 年（1955 年）● 1 月 1 日 秦野町、南秦野町、東秦野村、北秦野村が合併し、秦野市が誕生 **1**
- 4 月 大根村の一部が編入
- 7 月 西秦野村と上秦野村が合併し、西秦野町が誕生
- 昭和 33 年（1958 年）● 市章を制定
- 昭和 38 年（1963 年）● 秦野市と西秦野町が合併
- 東海大学湘南校舎（現在の湘南キャンパス）が開校
- 昭和 39 年（1964 年）● アメリカ合衆国テキサス州バサデナ市と姉妹都市提携を開始
- 昭和 44 年（1969 年）● 「市民憲章」を制定
- 新市庁舎が完成 **2**
- 昭和 47 年（1972 年）● 市の木「さざんか」、市の花「なでしこ」、市の鳥「うぐいす」を指定
- 「鳥もすめる環境都市宣言」を決議
- 昭和 48 年（1973 年）● 上智短期大学（現在の上智大学短期大学部）が開校
- 昭和 50 年（1975 年）● 人口が 10 万人に到達
- 昭和 54 年（1979 年）● 中央運動公園（現在のカルチャーパーク）が完成
- 昭和 55 年（1980 年）● 「市民の日」を制定
- 文化会館を開設
- 昭和 56 年（1981 年）● 東名高速道路秦野中井 IC が開通 **3**
- 昭和 58 年（1983 年）● 東海大学との提携事業を開始
- 昭和 59 年（1984 年）● 長野県諏訪市と姉妹都市提携を開始
- 葉タバコ耕作が終了 **4**
- 昭和 60 年（1985 年）● 「秦野盆地湧水群」が環境庁（現在の環境省）の全国「名水百選」に選定 **5**
- 新図書館を開設
- 昭和 61 年（1986 年）● 「秦野市平和都市宣言」を制定
- 昭和 62 年（1987 年）● 大秦野駅は秦野駅に、大根駅は東海大学前駅に名称変更
- 葛葉緑地が、「かながわのナショナル・トラスト第1号」に指定
- 昭和 63 年（1988 年）● 日本たばこ産業秦野工場が閉鎖
- 人口が 15 万人に到達
- 平成元年（1989 年）● まほろば大橋が完成 **6**
- 平成 2 年（1990 年）● 秦野市水道事業 100 周年
- 桜土手古墳展示館を開設
- 平成 5 年（1993 年）● 渋沢駅が山小屋風の橋上駅舎となり、南北の自由通路も完成
- 平成 8 年（1996 年）● 総合体育館を開設
- 鶴巻温泉駅北口広場が完成
- 平成 9 年（1997 年）● 県立秦野戸川公園が一部開園
- 秦野駅北口広場にペDESTリアンデッキが完成
- 平成 10 年（1998 年）● 小田急線特急ロマンスカーが秦野駅に停車 **7**
- 保健福祉センターを開設
- 平成 12 年（2000 年）● 田原ふるさと公園が完成
- 平成 13 年（2001 年）● 弘法山公園内の権現山に展望台が完成
- 日帰り入浴施設「鶴巻温泉 弘法の里湯」を開設
- 宮永岳彦記念美術館を開設
- 平成 14 年（2002 年）● 秦野赤十字病院が立野台に新築移転 **8**
- 平成 16 年（2004 年）● 平成元年（1989 年）に汚染が発覚した「秦野盆地湧水群」の名水復活を宣言
- 平成 17 年（2005 年）● 市制施行 50 周年
- 市の木「こぶし」と市の花「あじさい」を追加指定
- 大韓民国京畿道坡州市と友好都市提携を開始



9 平成19年(2007年)
全国で初めて市役所の敷地内にコンビニを誘致



11 平成25年(2013年)
はだのグリーンセンターが本格稼働



13 平成27年(2015年)
県内一長い桜並木の愛称を「はだの桜みち」に決定



15 令和2年(2020年)
はだの丹沢クライミングパーク開所式



17 令和3年(2021年)
はだのっ子キッチンが完成



10 平成22年(2010年)
天皇皇后両陛下をお迎えした第61回全国植樹祭



12 平成25年(2013年)
第19回全国報徳サミット秦野市大会を開催



14 平成28年(2016年)
名水百選選抜総選挙のおいしさが素晴らしい名水部門で
全国1位に輝いた「おいしい秦野の水」



16 令和3年(2021年)
ヤビツ峠レストハウスを開設



18 令和4年(2022年)
新東名高速道路新秦野IC開通



19 令和4年(2022年)
県内初的女子野球タウンに認定



20 令和5年(2023年)
新たな産科有床診療所が開設



21 令和6年(2024年)
電子地域通貨
「OMOTANコイン」の
運用を開始



22 令和7年(2025年)
秦野市・伊勢原市共同消防指令センター開所式



23 令和7年(2025年)
ネイチャーポジティブ認証自治体認定書の授与



HADANO HISTORY

- 平成 19 年 (2007 年) ●「南が丘砂口線(市道81号線)」が開通
 - 表丹沢野外活動センターを開設
 - 上智短期大学(現在の上智大学短期大学部)との提携事業を開始
 - 全国で初めて市役所の敷地内にコンビニエンスストアを誘致 **9**
- 平成 20 年 (2008 年) ●「秦野市平和の日」を制定
- 平成 22 年 (2010 年) ●天皇皇后両陛下をお迎えし、県立秦野戸川公園で第 61 回全国植樹祭を開催 **10**
 - 都市計画道路「渋沢駅前落合線(市道23号線)」の一部が開通
- 平成 23 年 (2011 年) ●「鶴巻温泉 弘法の里湯」が新たな源泉「つるまき千の湯」を引き込み、リニューアル
- 平成 24 年 (2012 年) ●大根川ポンプ場が完成
- 平成 25 年 (2013 年) ●はだのグリーンセンターが本格稼働 **11**
 - 県立西部総合職業技術校(かなテクカレッジ西部)が開校
 - 第 19 回全国報徳サミット秦野市大会を開催 **12**
- 平成 27 年 (2015 年) ●市制施行 60 周年
 - 県内一長い桜並木の愛称を「はだの桜みち」に決定 **13**
 - 秦野消防創立 50 周年
 - 秦野駅構内に観光案内所が開設
- 平成 28 年 (2016 年) ●「おいしい秦野の水～丹沢の雫～」が、名水百選選抜総選挙のおいしさが素晴らしい名水部門で全国第 1 位に輝く **14**
- 平成 29 年 (2017 年) ●「名水はだの富士見の湯」を開設
 - 「曾屋水道」が近代水道施設として全国初の国登録記念物(遺跡関係)に登録
- 令和 2 年 (2020 年) ●旧芦川家住宅主屋(緑水庵)が国登録有形文化財(建造物)に登録
 - 県立秦野戸川公園内に、はだの丹沢クライミングパークを開設 **15**
 - 桜土手古墳展示館を「はだの歴史博物館」にリニューアル
- 令和 3 年 (2021 年) ●震生湖が国登録記念物(動物、植物及び地質鉱物関係)に登録
 - 表丹沢の新たな拠点「ヤビツ峠レストハウス」を開設 **16**
 - 43 年ぶりに改定した新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」と共に「総合計画はだの 2030 プラン」がスタート
 - 市学校給食センター(はだのっ子キッチン)が完成し、中学校完全給食を開始 **17**
- 令和 4 年 (2022 年) ●「鶴巻温泉 弘法の里湯」が累計入館入浴者 300 万人を突破
 - 新東名高速道路の新秦野 IC と秦野丹沢スマート IC が開通 **18**
 - ねりんピック2022 をカルチャーパークで開催(弓道・軟式野球)
 - 県内初的女子野球タウンに認定 **19**
- 令和 5 年 (2023 年) ●関東大地震の遺構「震生湖」誕生 100 周年
 - 新たな産科有床診療所が開設 **20**
- 令和 6 年 (2024 年) ●「名水復活宣言」20 周年
 - パサデナ市との姉妹都市提携 60 周年を記念し、訪問団による演奏会や交流会を開催
 - 第 40 回全国ろう会秦野大会を開催
 - 電子地域通貨「OMOTANコイン」の運用を開始 **21**
- 令和 7 年 (2025 年) ●市制施行 70 周年
 - 秦野市・伊勢原市共同消防指令センターを開設 **22**
 - 1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)で初のバイオマス産業都市に認定
 - 生物多様性の損失を止め、自然を回復させる「ネイチャーポジティブ」実現を推進する自治体として、県内初、全国で2例目となる認証を取得 **23**



権現山より望む小田急線

Creating a Buzz at the Four Stations

4 駅それぞれの
にぎわいづくり

小田急線4駅周辺のにぎわい創造に向け、住んでいる方、働いている方、学生など、まちに関わるさまざまな人の思いやアイデアを共有し、形にする場として、駅ごとに「にぎわい創造検討懇話会」を開催し、それぞれの特色を生かした事業に取り組んでいます。

秦野駅 Hadano Station

開業した当時は、現在の秦野市から中井町を経て二宮町までを結ぶ軽便鉄道で「秦野駅」の名称が使用されていたため、「大秦野駅」として開業しました。昭和12年(1937年)の軽便鉄道廃止後、半世紀の時を経て、昭和62年(1987年)に「秦野駅」と改称されました。

特急ロマンスカーが停車し、4駅の中で一番乗降者数が多い駅です。



はだののミライラボ

秦野駅北口では、中心市街地のにぎわいを創造するため、公民連携により、河川や道路空間などの公共空間を活用した居心地の良い空間づくりに取り組んでいます。この取り組みを「まちなか」に広げ、多くの方々と「はだののミライ」を考えながらまちの魅力を創造していきます。



来場者でにぎわう水無川沿いの市道

リバーサイドリビング



渋沢駅 Shibusawa Station

小田急線の駅の中で、最も標高の高い場所にあり、表丹沢の玄関口として多くの観光客が利用しています。平成5年(1993年)に山小屋をイメージした橋上駅舎に生まれ変わり、平成31年(2019年)には、秦野産の木材を活用して木のぬくもりを感じさせる駅空間を創出するため、コンコース壁面のリニューアルを行いました。

地元商店会及び商工会議所青年部と連携し、子どもたちが地域のまちづくりに参加する機会を創出するため、秦野産の木材を活用したベンチづくりを行いました。完成したベンチは駅の北口と南口に2台ずつ設置され、買い物中の休憩や表丹沢の景色を眺める場所として利用されています。



ベンチに色を添えることもたち



渋沢駅北口ペデストリアンデッキに設置されたベンチ

東海大学前駅 Tokaidaigaku-mae Station

昭和62年(1987年)に橋上駅舎に改築されたことを機に、「大根駅」から「東海大学前駅」に改称されました。東海大学湘南キャンパスの最寄り駅であることから、多くの学生でにぎわっています。



協力して絵を描く参加者

駅周辺を愛着のある場所にするために実施したチョークアートは、親子連れなど120名が参加し、駅前広場を彩りました。東海大学の学生がデザイン作成や当日の運営を担い、地域交流の機会にもなりました。このほか、毎月第1水曜日には、駅前において地元店舗の出店による「One(オオネ)マルシェ」が開催されています。



東海大学前駅の駅前広場を会場とした「One マルシェ」

毎月第1水曜日に開催されるマルシェです。

鶴巻温泉駅 Tsurumaki-onsen Station

昭和2年(1927年)に「鶴巻駅」として開業し、2度の名称変更を経て、昭和33年(1958年)に「鶴巻温泉駅」と改称されました。平成30年(2018年)には、内装に秦野産の木材が使われた駅舎へとリニューアルしました。

駅前広場を会場としていた「鶴巻温泉春まつり」の会場を試行的に拡大(弘法の里湯駐車場・温泉横丁、宮永岳彦記念美術館、つるまき北公園)し、周辺地域への回遊性向上や滞在時間の延長に取り組んでいます。

来場者でにぎわう弘法の里湯 温泉横丁



木くずのプール



An Extensive Arterial Road Network and Excellent Transportation Accessibility

広域幹線道路網と優れた交通利便性

市内には東名高速道路・新東名高速道路が整備されており、厚木秦野道路が計画されているなど、車社会において高い利便性を誇る、快適なアクセス環境が更に向上します。



東名高速道路

Tomei Expressway

☑ 東名高速道路

東名高速道路は、首都圏と中京圏の二大都市圏を結ぶ大動脈として全線が開通してから55年が経過し、この間、日本の経済活動と物流を支えてきました。本市においても、昭和56年（1981年）の秦野中井IC開通を契機として、商工業の発展や物流の効率化に大きな効果をもたらしています。



新秦野IC周辺

(NEXCO 中日本東京支社 提供)

新秦野IC及び秦野丹沢スマートICは、令和4年（2022年）4月16日に同時開通しました。

Shin-Tomei Expressway

☑ 新東名高速道路

新東名高速道路は、現在工事中的の新秦野ICから新御殿場IC間が開通することで、東名高速道路とのダブルネットワークが形成され、交通利便性が更に向上し、秦野市内の産業基盤の強化や観光資源を生かした地域活性化など、さまざまな効果が期待されます。

Atsugi-Hadano Route

☑ 厚木秦野道路

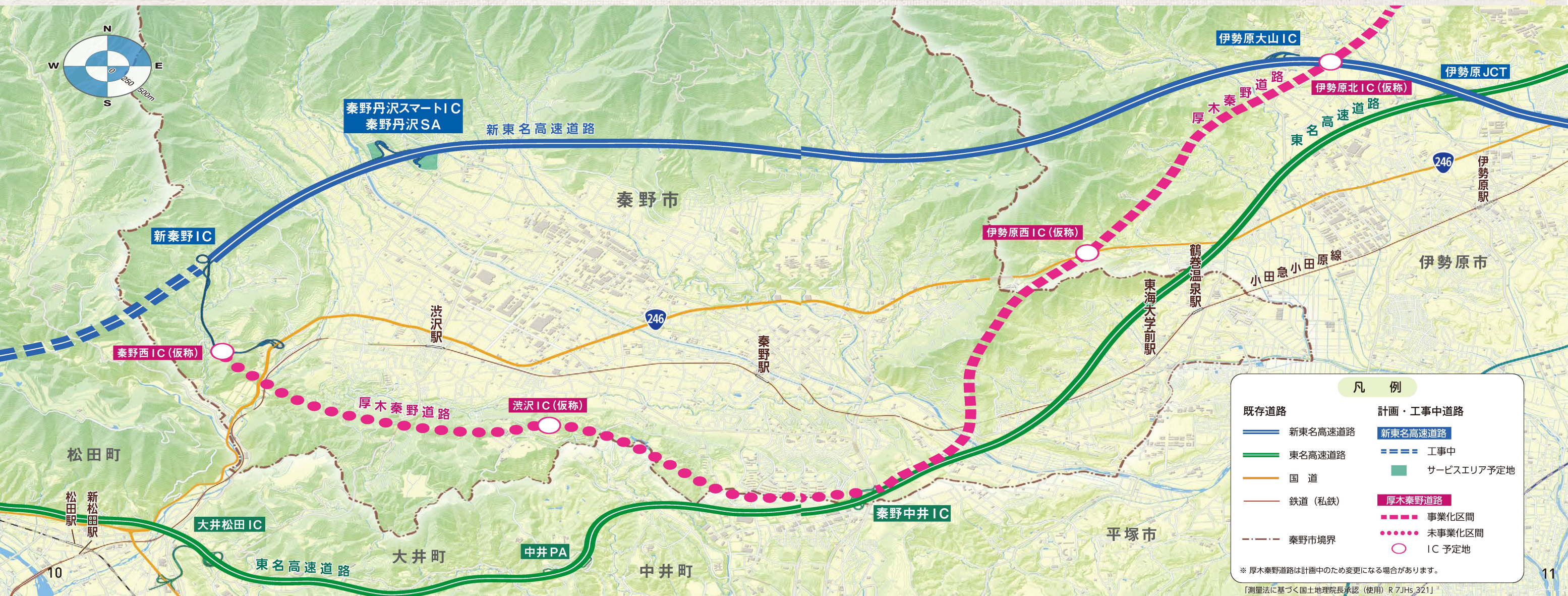
東名高速道路・新東名高速道路・圏央道と連結し、一体の広域交通ネットワークとなる厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、周辺地域との交通の流れを円滑にし、沿線都市の経済活性化や地域交流を促進するとともに、災害時における緊急車両の迅速な到着に寄与することが期待されています。



秦野丹沢SA下り(工事中)

(NEXCO 中日本東京支社 提供)

新東名高速道路の全線開通及び秦野丹沢SAの開設は、令和9年度（2027年度）に予定されています。



A Support System Providing Lasting Peace of Mind that is Always by Your Side

ずっと寄り添う 安心が続くサポート体制

結婚・妊娠・出産・子育てを経て、こどもたちが成長して社会にはばたき、ふるさと秦野で新しい家庭を築いていく…。あらゆるライフステージで市民の皆さんをサポートできる環境づくりを進めています。子育てに関わる全ての人たちが心豊かに過ごせるよう、秦野市はひとにやさしい支援をこれからも充実させていきます。



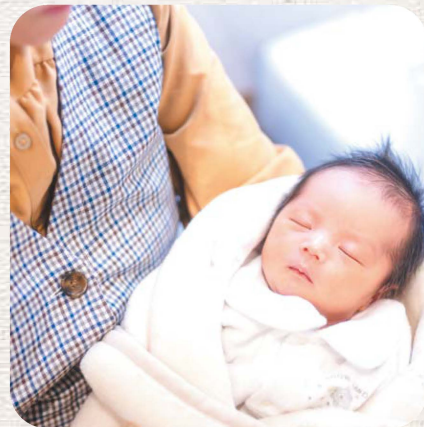
1

安心して出産できる環境の充実

Enhancing a Safe and Supportive Environment for Childbirth

市内で分娩できる産科有床診療所として、令和5年（2023年）11月にアクアベルクリニックが開院し、多くの妊産婦に利用されています。また、身体のケア、母乳のケア、休養、リフレッシュ、育児相談など、産後のママと赤ちゃんの大切な時間をサポートする産後ケア事業も実施しており、助産院や医療機関での日帰り型・訪問型・宿泊型のケアのほか、参加者同士の交流ができる日帰り型の「産後ゆったりルーム ぽっかぽか」もあります。

産科有床診療所 産後ケア事業



2

切れ目のない子育て支援

Seamless Support for Raising Children

こども家庭センターでは、妊産婦、子育て世帯、こどもの不安や悩みに寄り添いながら、切れ目ない相談・支援を行っています。保健師、助産師、家庭相談員などの専門職が、妊娠、出産、子育てまでをトータルで支えます。また、市内に9か所ある「ぽけっと21」や鶴巻地区で開設している「ちっちゃなて」は、子育て支援センターとして、常駐するアドバイザーが気軽に子育てなどの相談に対応するとともに、親子同士の触れ合いの場を提供しています。

こども家庭センター 子育て支援センター



3

多様な保育環境の整備

Developing Diverse and Inclusive Childcare Options

認定こども園・認可保育所・幼稚園など、公私・園種を問わず、その特性を生かして保護者や地域のニーズに応じた運営を行っています。また、未就園児の一時預かりや、病後児保育などにも対応しており、子育て世帯を支援する環境づくりを行っています。

認定こども園 認可保育所 幼稚園



4

地域による見守り、居場所づくり

Creating Community-Based Child Support and Safe Spaces

こどもの居場所づくりや親同士の情報交換を支援する民間の団体が多く活動しています。それぞれの活動団体がつながりを持つ登録制の「はだのっ子未来応援サポーター」も立ち上がり、地域全体で子育てを応援する体制づくりが進んでいます。

こども食堂、学習支援 はだのっ子未来応援サポーター



母子手帳アプリ「母子モ」

こどもの予防接種や健診データ、子育て日記を簡単に記録できる母子手帳アプリ（電子母子健康手帳）を通じて、乳幼児健診や親子向けの情報などを配信しています。



子育ての情報を一冊に 「子育てサポートブック」

妊娠・出産から就学前まで、子育てに役立つ情報を一冊にまとめた「子育てサポートブック」には、認定こども園・認可保育所・幼稚園情報、相談窓口、医療機関の案内など、必要な支援制度や地域資源を分かりやすく掲載しています。安心して子育てができるよう、情報の面からもサポートしています。



詳しい情報は
市HPへ



5

結婚・新生活を応援

Supporting Marriage and Newlywed Life

結婚を希望する若者の出会いづくりのサポートや新婚世帯の家賃や引っ越し費用を助成するなど、新たな門出を多方面から支えることで、ふるさと秦野で築く新たな家庭を応援します。

婚活応援セミナー、イベントの実施

結婚新生活助成（賃貸・引っ越し費用の助成）

6

はだのOMOTANライフ応援事業

Hadano OMOTAN Life Support Program

子育て世帯の移住定住促進を目的として、新たに市内に住宅を購入した際の費用の一部を助成する制度です。基本額20万円に、子育てや市外からの転入、親世帯との同居や近居などの条件に該当するとそれぞれ10万円を加算し、最大60万円を助成します。

移住定住促進の助成制度





Hadano Learning that Nurtures Children's Dreams and Hopes

こどもたちの夢と希望を育む秦野の学び

誰もが安心して学べる環境を整備するとともに、子育て家庭の負担を軽減する学校給食や園小中一貫教育を進めています。さらに、教育現場でのデジタル化を進めて教員の負担軽減を図ることで、こどもたちと向き合う時間を確保し、児童・生徒に優しく、市民に寄り添う教育施策を推進しています。

教育環境の充実に向けて、継続的に取り組んでいます。

Initiatives are Continuously Being Tackled to Enhance the Educational Environment.



ICT教育

ICT Education

ICT機器を活用した新しい学びの形

タブレット端末を効果的に活用するため、AI搭載の学習支援ドリルアプリや思考力を高める授業支援アプリを導入するなど、デジタル教材を活用することで、より分かりやすく、こどもたちの興味を引き出す学びを展開しています。



タブレットを使用した授業



スマートスクール構想の実現

一人1台端末の効果的な活用、高速通信網やクラウド環境の整備、教育データの利活用、校務の効率化などを通じて、教員がこどもたちと向き合う時間を確保するとともに、個別最適化された学びや主体的・対話的な学びの実現により、教育水準の改善向上を目指しています。



教員によるタブレット上で行うテストの問題作成

はだのメソッド[※]による一貫教育

Integrated Education Based on the Hadano Method

育ちと学びの連続性の確保



公私・園種を問わず、乳幼児期から義務教育段階終了までの一貫した教育活動を推進し、こどもたちの生きる力を育みます。

※はだのメソッドとは
公私や園種の枠を超えた園小の接続・連携強化と、義務教育学校の設置を見据えた更なる小中一貫教育を推進する秦野市ならではの取り組み。



小・中学校合同の挨拶運動



小・中学校の教員による合同検討会



秦野ふるさと科

小・中一貫した秦野市ならではの特色あるカリキュラムです。

自然や歴史、文化・伝統芸能など、さまざまな分野の地域素材を生かし、地域の方々にもご支援いただきながら、こどもたちのふるさと秦野への誇りや愛着を育む教育活動を展開しています。



はだのっ子を育む学校給食

School Lunch Program that Nurtures Hadano Children

小中学校の完全給食



市内にある13の小学校は全て、校舎内に有する給食調理室で調理した給食を提供しています。中学校では、令和3年（2021年）12月に開設した秦野市学校給食センター（はだのっ子キッチン）による給食の提供を開始しました。

小学校では、こどもたちがさやむきや皮むきを行った秦野産の「そら豆」や「とうもろこし」をその日の給食で提供するなど、食への関心や地産地消の意識を高める食育活動を行っています。また、小中学校ともに、日常的に「小松菜」「たまねぎ」「大根」など、幅広い地場産物を積極的に取り入れています。



「かながわ産品学校給食デー」「ふるさと秦野食育DAY」

小学校では「かながわ産品学校給食デー」、中学校では「ふるさと秦野食育DAY」として年間3回以上、秦野産や県産の食材を多く使った献立を提供しています。

また、生産者との交流や規格外野菜の活用などを通じて、地域とつながる食育を実践しています。



The Hadano Tobacco Festival: Honoring Tradition While Evolving with the Times

伝統を受け継ぎ、
進化する 秦野たばこ祭

かつて、日本三大銘葉の一つに挙げられた「^{はだの}秦野葉」の産地だった秦野市。

「秦野たばこ祭」は、先人たちの葉タバコ栽培が秦野市の礎となり、耕作者の努力が市の発展を支えてきたことを伝えるものです。今では、秦野市最大規模の祭りとして多くの人に親しまれ、市民参加型の祭りとして進化を続けながら、先人たちの情熱を受け継いでいます。

市内最大の観光イベントとして毎年9月第4土・日曜日に開催しています！



「たばこ娘のコンテスト」当時の様子
このコンテストは後に、「ミスたばこ」に発展しました。

現代へ

The End of Cultivation and the Culture Carried into the Present
耕作の終焉と現代へ受け継がれる文化

昭和59年（1984年）に葉タバコ耕作が終焉を迎えた後も、「たばこ祭」は地域の誇りとして市民の手で進化を遂げてきました。昭和61年（1986年）には、検討委員会からの報告などを受け、「見る」祭りから「参加する」祭りへと発展。「火」をテーマにした「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」やフロートパレードなど、多彩な催しが誕生しました。たばこ祭は、現在もより華やかに、市民参加型の祭典として発展を続けています。

始まり

A Citizens' Festival Born from Postwar Reconstruction
戦後復興から生まれた市民の祭り

昭和23年（1948年）、戦後の不況と葉タバコ耕作の衰退という厳しい状況の中、地域の活力を取り戻すため、煙草耕作者組合の主催により、葉タバコ耕作者の慰労と地域振興を目的として『たばこ祭』は始まりました。記念行事として企画された慰安会が発端となり、歌舞伎劇や民謡踊りなど、素朴ながらも地域の思いが詰まった催しでした。

第1回たばこ祭



変化の時

Toward Becoming the City's Signature Festival
市を代表する祭りへ

昭和32年（1957年）からは市の主催となり、家族連れや若者向けの企画も加わって、幅広い世代が楽しめる祭りへと発展。昭和50年代には歩行者天国が導入され、市街地全体が大きなにぎわいを見せました。

第3回（昭和25年）には、現在も残る「秦野たばこ音頭」が誕生します。



The History of Tobacco Leaf Cultivation

3月中旬に種を蒔き、7月から8月にかけて収穫されていました。

～葉タバコ耕作の歴史～

宝永4年（1707年）の「富士山宝永大噴火」の降灰による田畑の壊滅的な被害から、不屈の精神で復旧を成し遂げた先人たちは、その後、葉タバコの栽培に新たな活路を見出し、後に日本三大銘葉の産地の一つとたたえられるまでの見事な復興を果たしました。

「秦野煙草は技術で作る」といわれるなど、その優れた耕作技術は高く評価され、全国の耕作者が技術を学ぶために秦野を訪れるとともに、耕作指導員が他県の耕作地へ指導に赴き、秦野の技術を全国に広めました。また、葉タバコは連作ができないため、代わりに栽培された菜種や落花生の加工業、加工器具の製造・修理業、肥料商などの関連産業が生まれ、葉タバコの売買や製造とともに、まち全体の繁栄につながりました。

このような背景のもと、秦野市の礎を築き、産業の中心として、まちの発展に大きく貢献してきた「葉タバコ耕作」は、昭和59年（1984年）に300年余の長い歴史に幕を閉じました。しかし、その技術革新の精神は、カーネーション栽培をはじめとした農業や本市の産業を支えるものづくりに継承され、先人たちが注いだ情熱は、秦野市最大のイベントであるたばこ祭により、今なお、秦野市民の心に受け継がれています。



当時栽培されていた秦野葉

ジャンボ火起こし綱引きコンテスト



たばこ音頭パレード



らんたん巡行



打上花火



Festivals and Events that Brighten Hadano

秦野を彩る
祭りイベント

四季折々の自然とともに、市民の手で育まれてきた秦野の祭りイベント。春の「秦野丹沢まつり」や秋の「秦野たばこ祭」など、地域の魅力が集まる催しが一年を通して開催され、伝統と市民の熱気が融合する祭りは、訪れる人々に、にぎわいと温かさを届けています。自然、文化、そして人とのつながりが息づく、秦野ならではの催しの数々をご紹介します。



はだの丹沢水無川マラソン大会



ピースキャンドルナイト



秦野市市民の日

はだの桜まつり

カルチャーパークと弘法山公園を会場として、キッチンカーの出店などが行われます。水無川沿いでは、夕暮れから桜のライトアップが行われ、多くの来場者を魅了します。

秦野丹沢まつり

春の訪れを告げるお祭りです。県立秦野戸川公園会場では、山開き式、市立西中学校会場では、ステージや山開きパレードなど、華やかな催しが続きます。

ピースキャンドルナイト

平和や命の大切さを考え、共に語り合う機会として、市民手作りのキャンドルに、市役所の「平和の灯モニュメント」から採火した「平和の灯」とをともします。

秦野市市民の日

手作り品や農産物などを販売する市民祭りです。さまざまな団体のテントが並び、多くの方が訪れます。

Annual Event Calendar

年間イベントカレンダー

1月	ニューイヤーウォーク 消防出初式
2月	節分祭 初午祭
3月	はだの桜まつり
4月	秦野丹沢まつり 鶴巻温泉春まつり
5月	子どもまつり 秦野市商工まつり
6月	丹沢ボッカ駅伝競争大会
7月	河川浄化月間・ 環境ウォーク
8月	ピースキャンドルナイト うりうりのひやくはつたい 瓜生野百八松明
9月	秦野たばこ祭
10月	秦野戸川公園まつり おおね秋祭り
11月	秦野市市民の日 実朝まつり
12月	はだの丹沢水無川マラソン大会 ライトアップ・ イルミネーション (さかえちよう公園、県立秦野戸川公園)

他にも収穫体験など、多くのイベントを開催しています。



はだの桜まつり(弘法山公園・権現山)



秦野丹沢まつり(アルプホルンの演奏)



はだの桜まつり(水無川沿いの桜のライトアップ)



秦野丹沢まつり(西中学校会場のステージ)



秦野市商工まつり



子どもまつり

A Hub Weaving Together History and Culture

歴史と文化を紡ぐ拠点

市内には、古墳時代の二子塚古墳や鎌倉時代の御首塚、戦前の商家建築など、時代を超えて受け継がれてきた文化財が点在しています。歴史・信仰・暮らしを映し出す数々の遺構は、何気ない風景の中に今も息づいています。まちの身近な場所の“時を超えた記憶”を、文化財から感じてみませんか。

有形文化財

県指定文化財

秦野市平沢同明遺跡
出土の弥生前期壺形土器

伊勢地方で作られた可能性が高く、南関東地方における農耕文化の伝播を示す貴重な資料です。



県指定文化財

木造薬師如来立像
東光寺

鎌倉時代に、一日で造って供養した「一日造立仏」と考えられる作例で、背面に「建長8年3月8日」の銘があります。



国登録文化財

五十嵐商店店舗兼主屋

関東大震災により多くの建物を焼失した四ツ角周辺では、復興の象徴として、耐火性を意識した西洋古典様式やアールデコ様式などの影響を受けた建物が多く建築されました。その代表的な建築の一つです。現在は、1階でカフェが営まれており、レトロな雰囲気の中でコーヒーなどを楽しむことができます。



市指定文化財

戸川原の双体道祖神

寛文9年（1669年）に造立された市内で最も古い道祖神です。像は舟形にかたどった石に僧形の双体像が彫られています。



市指定文化財

瓜生野百八松明

南矢名の瓜生野地区に古くから伝わる、五穀豊穡や悪疫退散を祈願して火のついた松明を勢いよく振り回す行事です。毎年8月14日に行われています。

民俗文化財

記念物

国登録記念物

震生湖

大正12年（1923年）9月1日の関東大地震が引き起こした地滑りによって、土砂がせき止められて誕生した湖です。震災から100年以上経過しても「湖面」「崩落地」「堰止地」を確認することができ、地震の規模の大きさを伝える貴重な遺構です。



県指定天然記念物

鶴巻の大ケヤキ

昭和28年（1953年）に県指定天然記念物に指定された、推定樹齢600年以上の巨木です。地域では、「大工ノキ」として親しまれ、豊作や暮らしの守り木として大切にされてきました。



市指定史跡

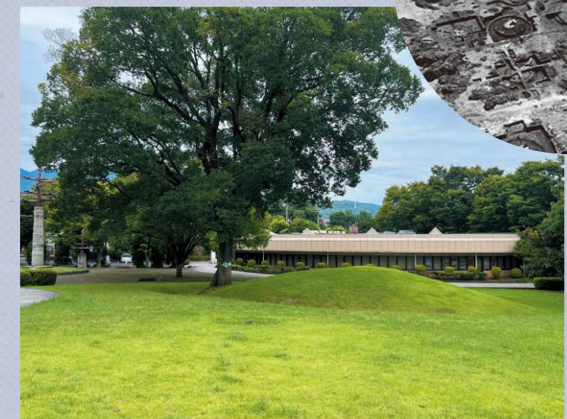
源実朝公御首塚

鎌倉幕府3代将軍源実朝が建保7年（1219年）に暗殺された際、三浦氏の家来である武常晴が実朝の首を得て、この地に埋葬したという伝承があります。当初の五輪塔は木造でしたが、波多野忠綱が金剛寺を再建した際に石造に替えたと言われています。



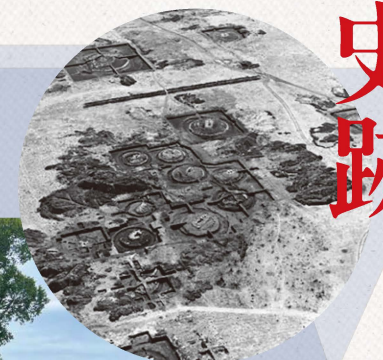
はだの歴史博物館（桜土手古墳公園）

秦野市の歴史と文化に触れられる考古専門施設として親しまれてきた「桜土手古墳展示館」を前身とし、令和2年（2020年）にリニューアルしました。博物館が位置する桜土手古墳公園は、7世紀を中心に、6世紀終わりから8世紀始めに築かれた35基の円墳から成る古墳群のうち6基を保存しており、「かながわの公園50選」「かながわの博物館50選」にも選定された、多くの人に親しまれる学びと憩いの場です。



はだの歴史博物館と桜土手古墳公園

史跡



詳しい情報は市HPへ

A City of Abundant Nature — Embracing the Beauty of Every Season

四季折々の風情が感じられる 自然豊かなまち

水と緑に恵まれた秦野のまちは、四季折々の彩りと表情を見せてくれます。
桜、あじさい、紅葉、雪化粧…。豊かな自然とともにある暮らしの中で、心に残る風景が一年を通して訪れる人々をやさしく包み込みます。



みのげ うすすみざくら
蓑毛の淡墨桜 (左上)

Usuzumi Cherry Tree of Minoge

のどかな里山の菜の花畑の中に咲く姿が印象的な淡墨桜

はだの桜みち (右上)

Hadano Cherry Blossom Promenade

約 700 本のソメイヨシノで彩る、約 6.2km の県内で一番長い桜並木

水無川沿いの桜並木 (下)

Cherry Blossoms along the Mizunashi River

満開時には桜のトンネルが楽しめるお花見スポットとして人気の桜並木

菜の花台から望む秦野盆地 (上)

View of the Hadano Basin from Nanohana-dai

晴れた日には、相模湾まで一望できる展望スポット

田原ふるさと公園 (左下)

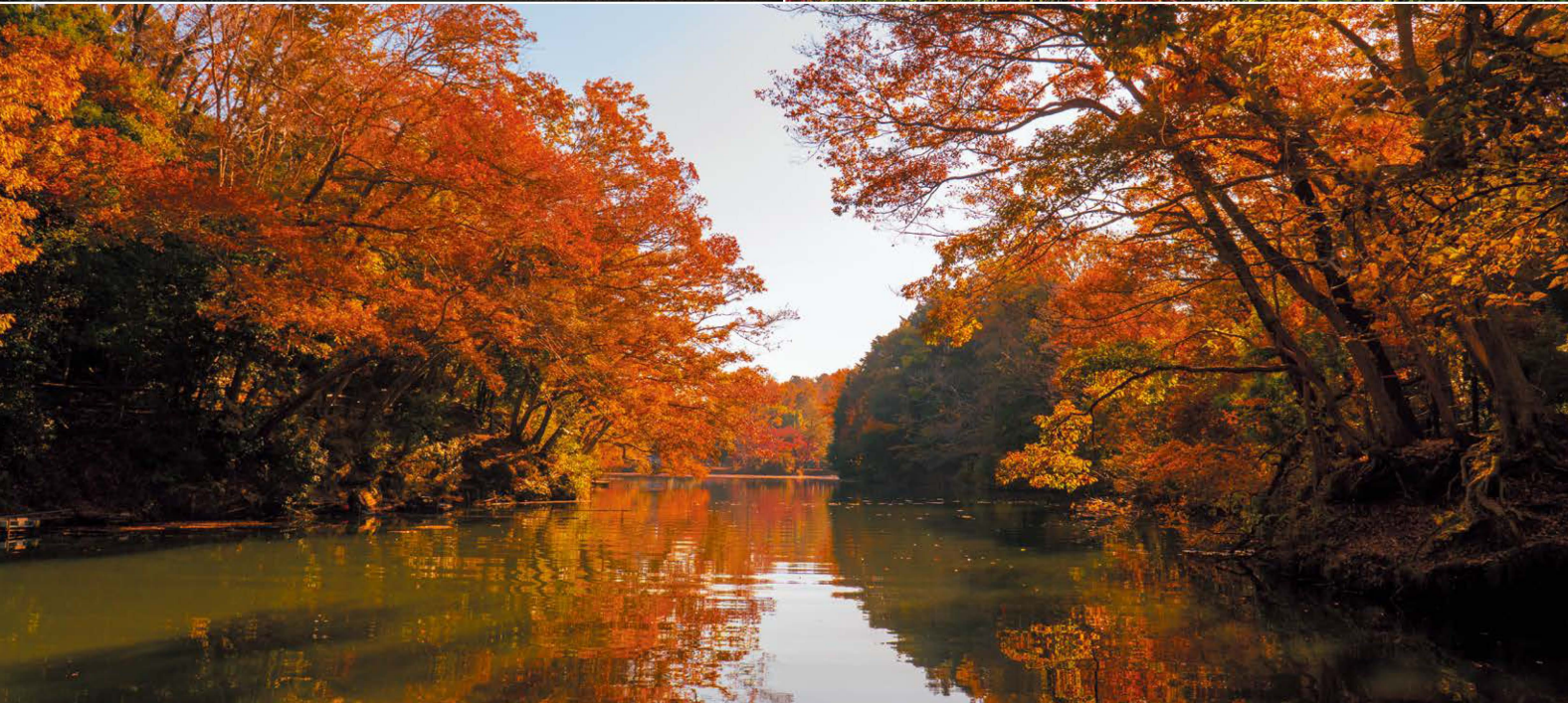
Tawara Furusato Park

中世の歴史を伝える史跡と豊かな自然に囲まれた公園

鶴巻あじさい遊歩道 (右下)

Tsurumaki Hydrangea Promenade

700 株を超えるあじさいが彩る善波川・大根川沿いの遊歩道



緑水庵 (左上)
Ryokusui-an

国登録有形文化財（建造物）に登録された、葉タバコ栽培を行っていた農家住宅の典型例

四十八瀬川の彼岸花 (右上)
Red Spider Lilies Along the Shijuhasse River

青空と真っ赤な彼岸花が見事なコントラスト

震生湖 (下)
Lake Shinsei

野鳥が多く、新緑から紅葉まで楽しめる関東大地震によって誕生した周囲約 1km の小さな湖

秦野市街と富士山 (上)
Hadano City and Mt. Fuji

雪化粧をまとう秦野市街と富士山を望む冬の風景

県立秦野戸川公園 (左下)
Hadano Tokawa Prefectural Park

表丹沢を源とする水無川が流れる自然を生かした都市公園で、「風の吊り橋」がシンボル

弘法山公園から望む初日の出 (右下)
The First Sunrise of the Year Seen from Mt. Kōbō Park

県立自然公園にも指定されている人気のスポットで迎える初日の出

Hadano Basin Springs: Sustaining Our Daily Life

暮らしを支える湧水
“秦野盆地湧水群”

丹沢山地と渋沢丘陵に囲まれた秦野盆地は、豊かな地下水を蓄える「天然の水がめ」として知られ、市内各地に湧水が点在しています。これらの湧水は生活用水や農業用水として人々の暮らしを支え、守り継がれてきました。豊かな湧水とその保全の取り組みにより、全国「名水百選」にも選定され、今も市民の生活を支え、文化に深く根付いた存在として、地域の魅力を伝え続けています。

地下水の保全に向けた市民協働の取り組み

Community-Based Initiatives for Groundwater Conservation

昭和60年（1985年）に「名水百選」に選ばれた「秦野盆地湧水群」は、自然の恵みと先人の知恵により守られてきた、市民共有の大切な財産です。かつて地下水汚染に直面した際も、市民・企業・行政が力を合わせて浄化に取り組み、「名水復活宣言」へとつながりました。現在も「秦野名水名人講」をはじめ、市民参加によるさまざまな活動が行われ、貴重な地下水を次世代へとつなぐ取り組みが続いています。「秦野名水」は、私たちの暮らしに欠かせない、かけがえのない共有の財産です。これからもその価値を大切に守り、未来へと伝えていきます。

〳 推し水選挙の結果発表! 〵



市制施行70周年記念事業

「秦野盆地湧水群選抜総選挙」

秦野市では、市制施行70周年と「名水百選」選定40周年を記念し、市内の湧水地や地下水を利用する施設31か所を対象に人気投票を実施しました。市内には山間部から市街地までさまざまな湧水が点在しており、それぞれに熱心なファンがいます。市民や来訪者に“推し水”を選んでもらうことで、地下水への関心を高め、名水の魅力を楽しく発信しました。



秦野名水とは

秦野市域に存在する地下水を水源とする水の呼称で、市民共有の財産として先人たちから受け継いできた誇りと「名水百選」の地としての水の価値を分かりやすく表現したものです。水道水をはじめ、生活に密着した利活用が図られており、人々の郷土愛によって培われた名水です。

市制施行60周年・「名水百選」選定30周年を記念して商標登録された「秦野名水」ロゴマークは、清らかなイメージを表す水色を基調とし、他地域の水との違いや魅力を発信するために活用されています。



「秦野名水まっぷ」を無料配布しています。



温泉施設

Hot Spring Facility

公営の日帰り温泉です!

〳 「秦野第一号泉」と「つるまき千の湯」二つの源泉を楽しめます! 〵



鶴巻温泉 弘法の里湯

Tsurumaki Onsen Kōbō-no-Satoyu

二つの源泉を有する日帰り温泉。カルシウムを多く含む成分豊富な湯は、神経痛・筋肉痛・外傷などに効果があるとされ、鶴巻地区の一部は神奈川県温泉準保護地域に指定されています。



名水はだの富士見の湯

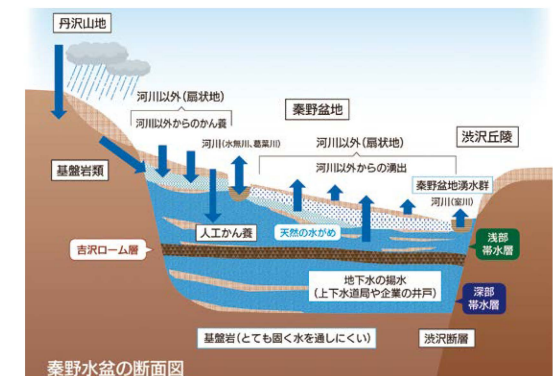
Meisui Hadano Fujimi-no-Yu

地下100mから汲み上げた名水と、美肌効果が期待されるメタケイ酸を豊富に含む天然温泉が特徴です。露天風呂や貸切風呂のほか、食事処などの設備が充実し、市民をはじめ、観光客にも親しまれています。



おいしい秦野の水～丹沢の雫～

緑豊かな丹沢の山々が育んだまろやかな「秦野の水」は、平成28年（2016年）に環境省が実施した、名水百選選抜総選挙・おいしさが素晴らしい名水部門で全国第1位に選ばれました。



天然の水がめ 秦野盆地

盆地が天然の水がめようになっており、さらに、水を通しにくい吉沢ローム層を挟んで浅部帯水層と深部帯水層に分かれています。地下水の賦存量は、芦ノ湖の約4倍の約7億5千万tといわれています。

葛葉の泉
Kuzuha Spring

秦野の水が「名水百選」に選ばれたことをきっかけに、地元の人々が地域活性化の一環として整備した泉で、市内外から訪れる多くのの人に親しまれ、利用されています。丹沢の自然の中で育まれた山間部の湧水は軟水で、清らかでまろやかな味わいが特長です。

弘法の清水
Kōbō Spring

弘法大師の伝説が残るこの湧水は、「秦野盆地湧水群」を代表し、古くから地域の暮らしを支えてきました。かつて、地下水汚染の危機に直面しましたが、市民の尽力により水質が回復し、今では名実ともに名水として親しまれています。

秦野市水道
Hadano City tap water

秦野市の水道は、全国的にも極めて早い時期に建設され、簡易陶管水道・自営水道としては日本初（諸説あり）の管井水道を発祥としています。主な水源は緑豊かな丹沢に育まれた非常にきれいな地下水で「秦野名水」と呼称され、山々に囲まれた県内唯一の盆地を生かした自然流下方式により、安価で安全・安心な水道水をお届けしています。

My Hadano: Scenery Alive in the Heart

特別企画 私のはだの。
心に息づく風景

心に残る思い出の物語。それは、風景に重なる記憶で、心に刻まれた時間でもあります。市制施行70周年に当たり、秦野にゆかりのある「はだのふるさと大使」の皆さんに、忘れた風景や思い出の場所などについてメッセージをいただきました。

ふるさと大使が語る

Hometown
Ambassador

はだのふるさと大使

■ 任命

令和元年（2019年）吉田 栄作 さん（俳優・歌手）
令和2年（2020年）春風亭 一左 さん（落語家）
山田 和樹 さん（指揮者）
合田 雅吏 さん（俳優）
令和3年（2021年）加藤 優 さん（元女子プロ野球選手）
令和5年（2023年）LUNA SEA 真矢さん（アーティスト）



吉田 栄作 さん
Eisaku Yoshida
俳優・歌手

市制70年、今も若さあふれるまち

秦野市の市制施行から70年、つまり秦野が市になって70年が経ったということ。そのことには正直少し驚きます。

秦野には市制施行以前から、古からの歴史があり、先人たちが築きあげた文化、産業があり、それらを現在も大切にしているまちなので、70年と聞くとまだまだ若いまちという印象を受けます。市制施行は僕が生まれるたった14年前だったのだと。でもそれは自分自身がそれなりの年齢

になったのだと思いますし、周りを見れば今の70代の方々はまだまだお若い！我が故郷「秦野市」にもそんな若い現役の70歳で

いていただきますよ。

このおめでたい年を、ふるさと大使としてしっかり盛り上げたいと思います。



春風亭 一左 さん
Issa Shunpūtei
落語家

思い出を刻む文化の舞台

秦野市内で思い出深い場所はクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）。只今、改装中ですが、学校行事、芸術鑑賞会、観劇などでよく行きました。

また、落語家になり二ツ目の時には、初めて演者として高座に上がることができ、真打昇進の折には、生まれ故郷で大々的に

披露興行が出来たのが良き思い出です。

新装するカルチャーホールを楽しみに、これからも落語文化を広めていきたいです。



山田 和樹 さん
Kazuki Yamada
指揮者

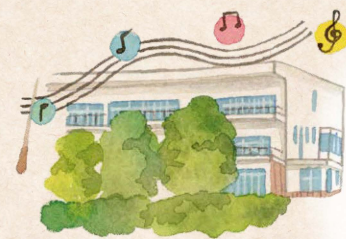
自然と音楽が育んだ原点

「♪みどりかがやき 風光る 盆地の町が 東へと…」

「♪丹沢の 山脈はるか 風かおる 渋沢の里…」どちらも加藤正二さん作曲の、我が母校、渋沢小学校と渋沢中学校の大変音楽的な校歌。私にとっての秦野は、豊かな自然がもたらす音楽と、人が織りなす音楽とが交錯する土地で

あり、もし秦野に生まれ育っていなかったら、自分は決して指揮者にはなっていなかったらと思う。

丹沢の美しい山並みの線それ自体が、音楽のメロディーラインにも見えてきて、あらためて秦野の自然の恩恵に感謝しています。



合田 雅吏 さん
Masashi Gōda
俳優

心を育てた水と空気

秦野市市制施行70周年、心よりお祝い申し上げます。

丹沢の麓（東地区）で生まれ育ち、近所の山や川で夢中になって遊んだ幼少期の経験—昆虫採取、釣り、野草採りなど—が今の自分の土台となりました。秦野の美味しい水や澄んだ空気には、体だけでなく、心までも

育ててもらったと感じています。

ふるさと大使として、水はもちろんのこと、秦野で体験できるさまざまな魅力を自分の言葉で皆さんと一緒に全国へ、そして世界へ丁寧に伝えていきたいと思います。



加藤 優 さん
Yū Katō
元女子プロ野球選手

笑い声が響いた夏の記憶

私の思い出の場所は、学童野球の夏合宿で汗を流した県立秦野戸川公園。仲間と笑い合いながら練習した日々は、今も心の宝物です。自然豊かで、人の温かさにあふれた秦野市が、これからも自慢の故郷として輝き続けますように。



LUNA SEA 真矢 さん
LUNA SEA Shinya
アーティスト

祭りがつなぐ心と心

秦野市市制施行70周年、心よりお祝い申し上げます。

僕が育った秦野市の、今でも受け継がれる伝統あるお祭りの数々、それがこどもの頃には当たり前にも思えていましたが、その古き良き風習を今でも市民全体で守っていること

の素晴らしさを、外に出てみて改めて知りました。

都会では横のつながりが減っている中、お祭りになれば近所の顔見知りと一緒に楽しくする文化は大変貴重に思います。

これからも秦野の未来への発展に向けて、今の僕にできることで最大限、お力になればと心から思っております。



イラスト 菅澤真衣子

最新情報や活動の様子は
こちらから。

市HPより
はだのふるさと大使情報

YouTube「はだのモービク」



本町地区



HONCHŌ

小田急線秦野駅の北側に位置し、東側に弘法山がある、本市の中心となる市街地で、市役所をはじめ各種の公共施設が充実している地域です。地区の西側には曽屋原を中心に、まとまった工業地帯が形成されています。令和8年度（2026年度）には、秦野駅北口の県道705号の対面通行開始が予定されており、中心市街地の活性化と合わせて、地域のにぎわいの加速が期待されます。



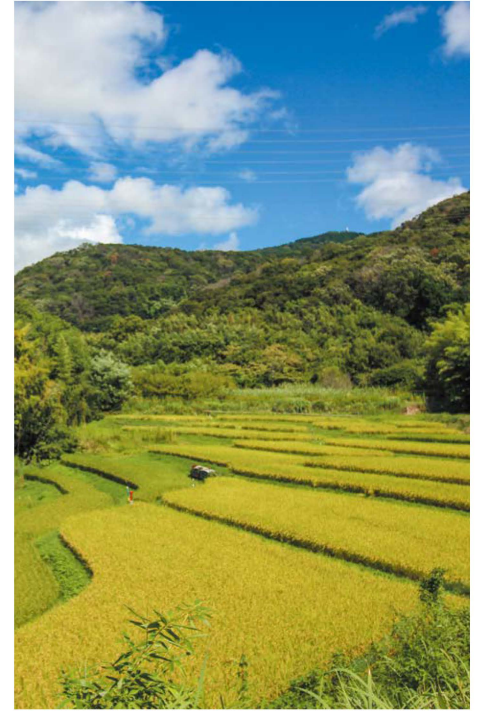
「かながわの橋100選」に選定されている
「まほろば大橋」のからくり時計塔

東地区



HIGASHI

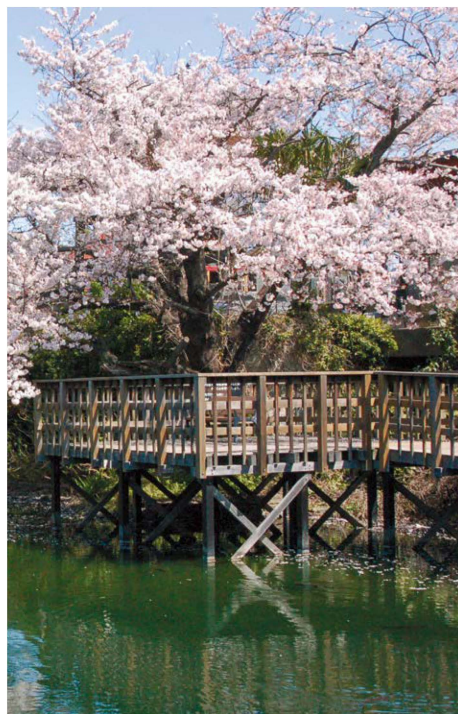
秦野盆地の東側に位置し、地区の北部と東部は丹沢大山国定公園に指定され、豊かな自然環境と、源実朝公御首塚や東田原中丸遺跡などの多くの歴史的資源が調和した地域です。農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定された「名古木の棚田群」や、田原ふるさと公園、里地里山などの美しい景観が広がっています。



名古木地区の棚田

Eight Landscapes
まちの未来を育てる

That Nurture the City's Future
八つの風景



今泉名水桜公園



MINAMI

南地区

市の南側に位置し、水無川沿いにあるカルチャーパークに、スポーツ・文化施設が多く集積している地域です。地区の南部には渋沢丘陵があり、震生湖をはじめとした豊かな自然環境に恵まれています。県内一長い桜並木である「はだの桜みち」や今泉名水桜公園など、美しい景観と潤いのある街並みが広がっています。



県立秦野戸川公園



KITA

北地区

市の中央北部に位置し、表丹沢の麓に位置する県立秦野戸川公園や表丹沢野外活動センターなどの豊かな自然を生かした施設がある地域です。地区内に秦野丹沢スマートICが開設され、土地区画整理事業による企業誘致を見据える中で、今後予定されている新東名高速道路の全線開通や秦野丹沢SAの開設により、更なる発展が期待されます。

大根地区



弘法山の東側に位置し、小田急線東海大学前駅がある地域です。広大な敷地と多くの学生数を誇る、東海大学湘南キャンパスが近隣に立地していることから、20歳前後の人口が多く、駅周辺は生活サービス施設が充実し、多くの商店と若者でにぎわっています。一方で、地区南部には、広大な田園風景が広がっていることも特徴です。

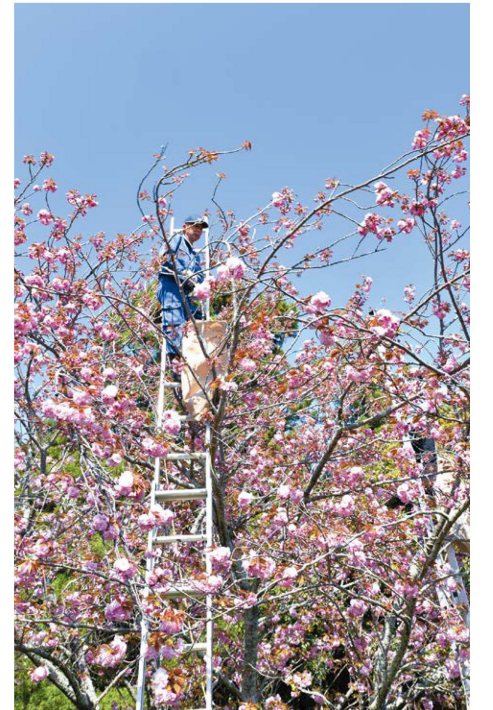


学生でにぎわう東海大学前駅周辺

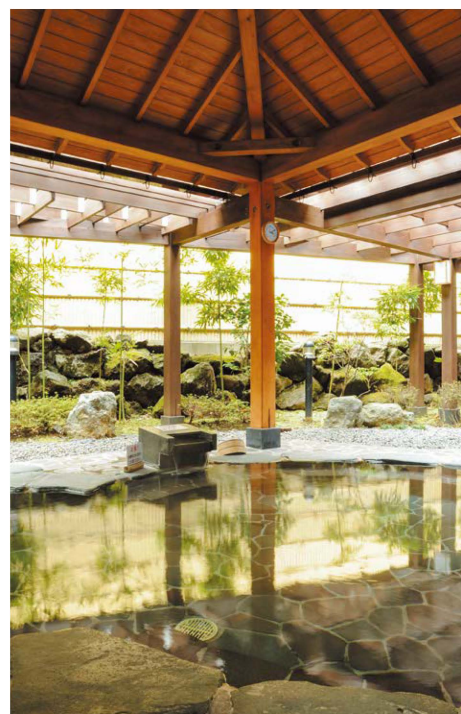
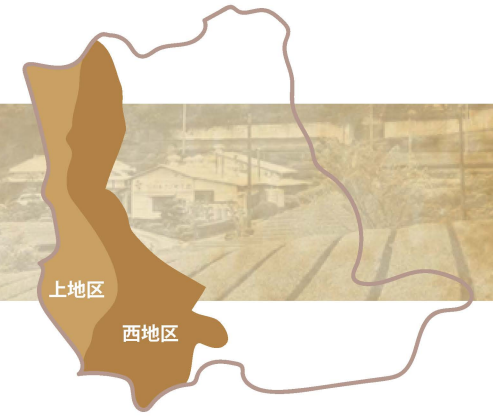
西地区



市の西側に位置し、表丹沢の玄関口でもある、小田急線渋沢駅がある地域です。駅周辺には多くの商業施設が立地し、市街地が広がっています。八重桜の里として有名な千村地区には頭高山が、堀山下地区にある桜土手古墳公園には「はだの歴史博物館」があり、身近な場所で自然や歴史に触れることができます。



八重桜の摘み取り



鶴巻温泉 弘法の里湯



鶴巻地区

市の最も東側に位置し、小田急線鶴巻温泉駅がある地域です。都市近郊でアクセス性の高い温泉地である鶴巻温泉は、日本有数のカルシウム含有量を誇っています。駅前には観光と文化の拠点である「鶴巻温泉 弘法の里湯（日帰り入浴施設）」と「宮永岳彦記念美術館」があり、周辺の飲食店では個性豊かなジビエ料理が味わえます。



四十八瀬川



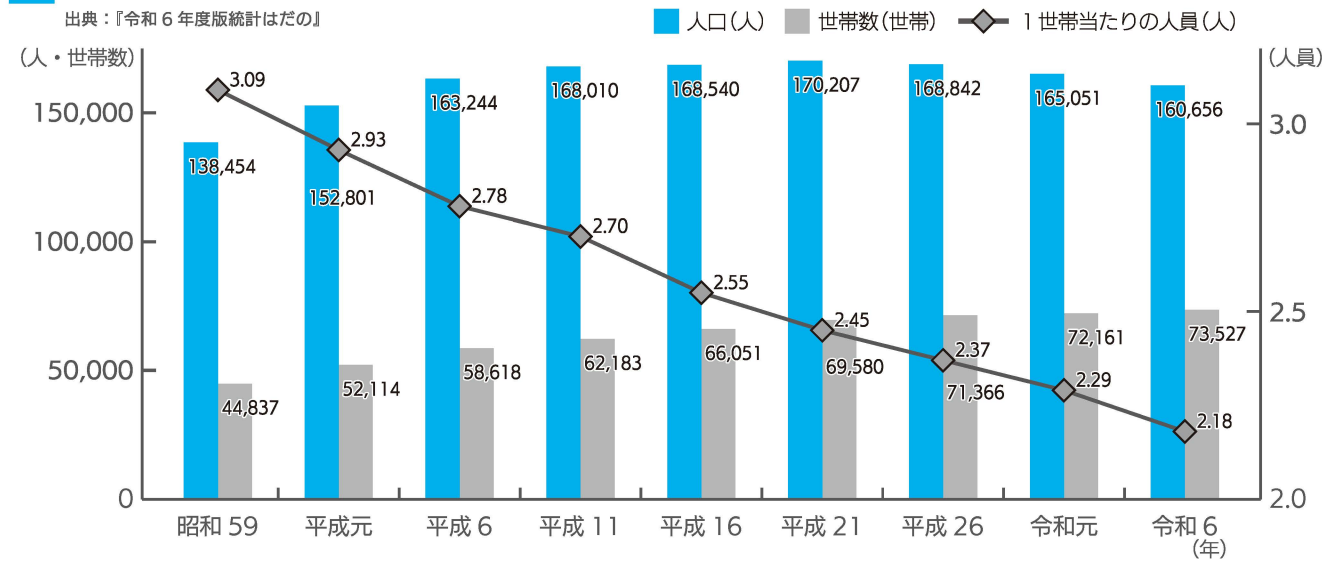
上地区

市の最も西側に位置し、西地区との境界を流れる四十八瀬川が、地区のシンボリックな存在となっている地域で、「柳川生き物の里」をはじめとした豊かな自然に恵まれた環境が特徴です。地区内に新秦野ICが開設され、利便性が向上する中、上地区ならではの生活を体験できる移住お試し住宅「TANZAWA LIFE」が人気です。

数字で見る秦野市

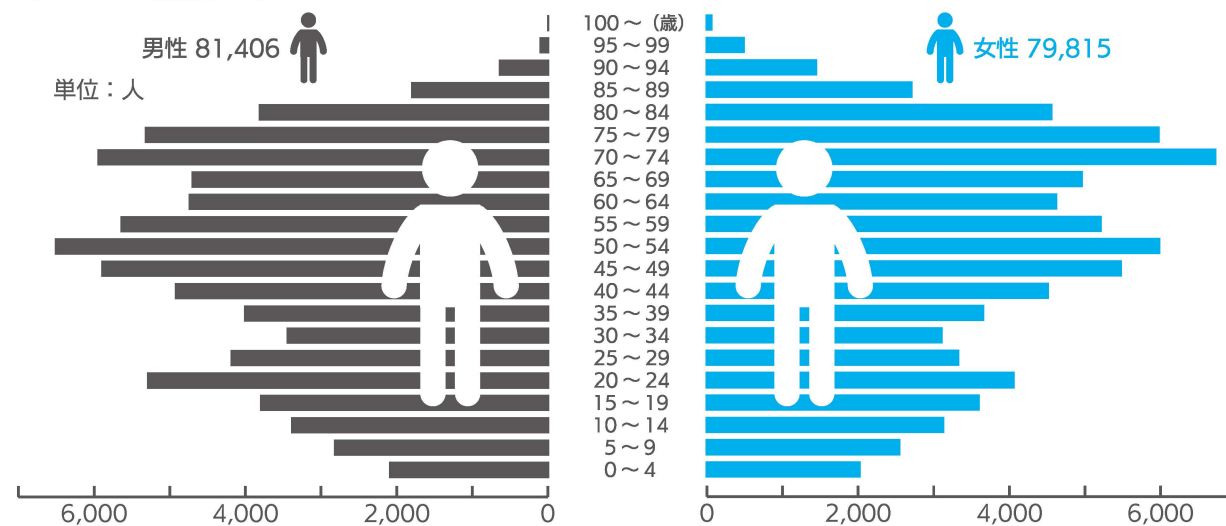
人口と世帯数の推移 (各年 10 月 1 日現在)

出典：『令和 6 年度版統計はだの』



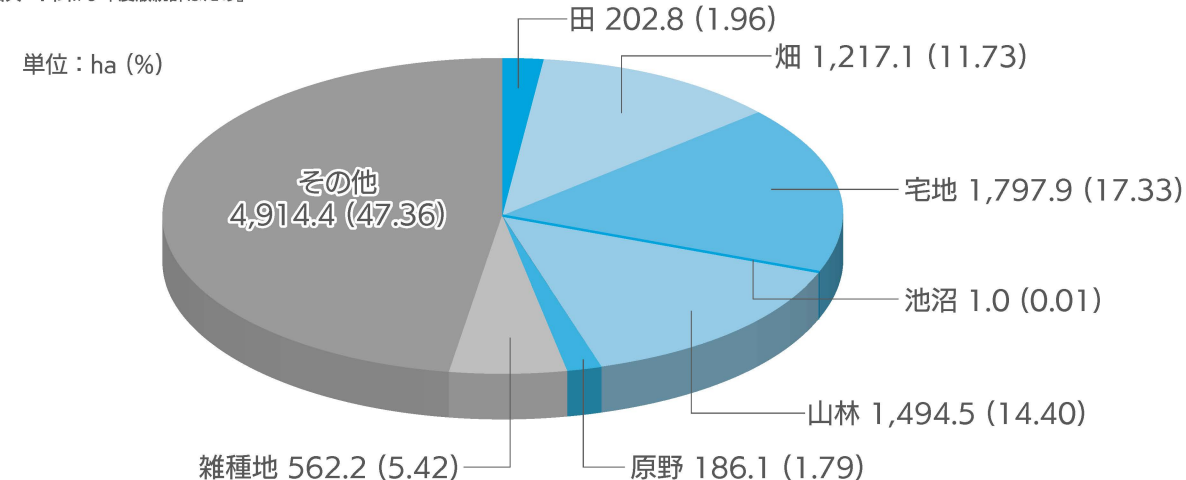
年齢別男女比 (令和 6 年 1 月 1 日現在)

出典：『令和 6 年度版統計はだの』



地目別土地利用状況 (令和 6 年 1 月 1 日現在)

出典：『令和 6 年度版統計はだの』



転入

1 日当たり(令和 6 年)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



転出

1 日当たり(令和 6 年)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



出生

1 日当たり(令和 6 年)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



死亡

1 日当たり(令和 6 年)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



結婚

1 日当たり(令和 4 年)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



湧き水

井戸設置台帳における湧水地登録数
出典：秦野市井戸設置台帳



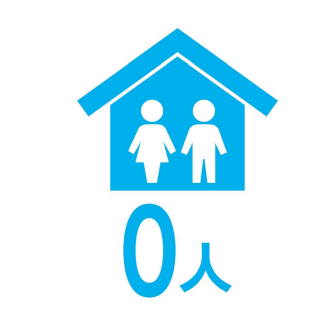
森林面積

国有林・官行造林・民有林合計
(令和 6 年度)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



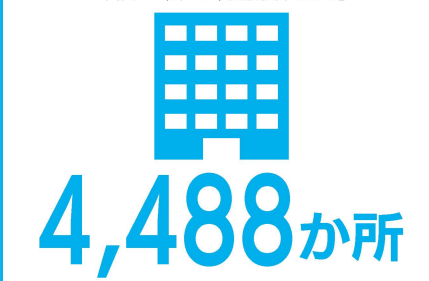
待機児童数

(令和 7 年 4 月 1 日現在)
出典：保育こども園課調べ



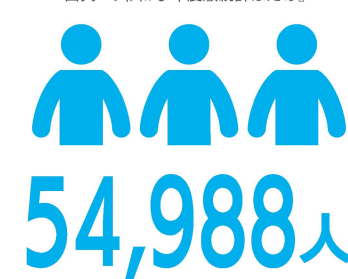
事業所数

経済センサス活動調査結果
(令和 3 年 6 月 1 日現在)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



従業者数

経済センサス活動調査結果
(令和 3 年 6 月 1 日現在)
出典：『令和 6 年度版統計はだの』



鉄道乗降人員

小田急線 4 駅合計
1 日当たり(令和 6 年度)
出典：小田急電鉄株式会社調べ



高速道路利用状況

東名・新東名 3 IC 合計
1 日当たり(令和 6 年度)
出典：NEXCO 中日本東京支社調べ



資料編

予算・決算 / 行政 / 議会



市章（昭和33年1月1日制定）

伝統の誇りと発展向上する「ハダノ」を最も力感のある形で、飛躍発展性と市民の精神的結合の旗じるしとして、翼型に図案化し、市の発展を象徴したものです。

昭和33年（1958年）1月に、一般公募により制定しました。

市の木

さざんか
（昭和47年4月1日指定）
こぶし
（平成17年4月23日指定）



市の花

なでしこ
（昭和47年4月1日指定）
あじさい
（平成17年4月23日指定）



市の鳥

うぐいす
（昭和47年9月1日指定）



■市民憲章（昭和44年10月1日制定）

わたくしたち秦野市民は、丹沢の美しい自然のもとで、このまちの限りない発展に願いをこめ、ここに市民憲章を定めます。

- 1 平和を愛する市民のまち、それは私たちの誇りです。
- 1 きれいな水とすがすがしい空気、それは私たちのいのちです。
- 1 健康ではたらき若さあふれるまち、それは私たちのねがいです。
- 1 市民のための豊かな文化、それは私たちののぞみです。
- 1 みんなの発言で住みよいまちを、それは私たちのちかいです。

■鳥もすめる環境都市宣言（昭和47年9月29日制定）

わたくしたち秦野市民は、きれいな水とすがすがしい空気のなかで、緑と花に親しみ、鳥もさえずる豊かなくらしと快適な生活環境を守るため、「鳥もすめる環境都市」宣言をします。

■秦野市平和都市宣言（昭和61年3月27日制定）

私たち秦野市民は、平和への限りない願いをこめて「平和を愛する市民のまち、それは私たちの誇りです。」と市民憲章に定めた。

私たちの責務は、この精神にのっとり永遠の平和を希求し、愛する郷土を守り次代へ引き継いでいくことである。

しかし、武力紛争は世界各地で絶え間なく続き、際限のない軍備拡大と核兵器の増強は、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

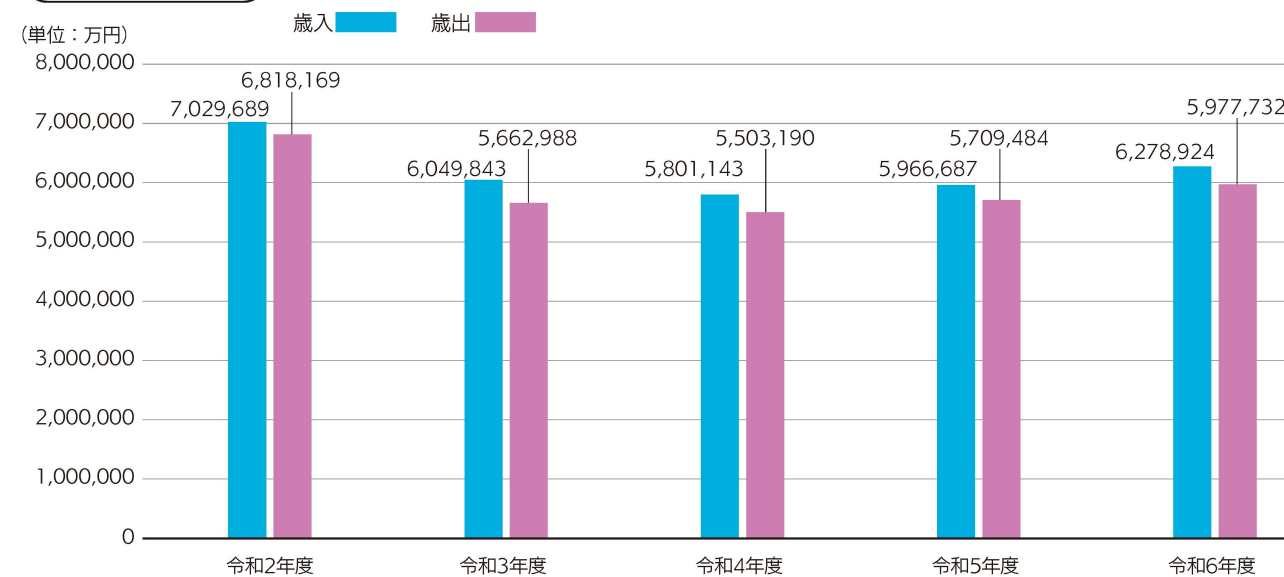
世界の恒久平和は、すべての人々の切なる願いである。私たち秦野市民は、国際平和年に当たり非核三原則を堅持するとともに、永久の平和とあらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を願い、ここに「平和都市」を宣言する。

予算・決算（一般会計）

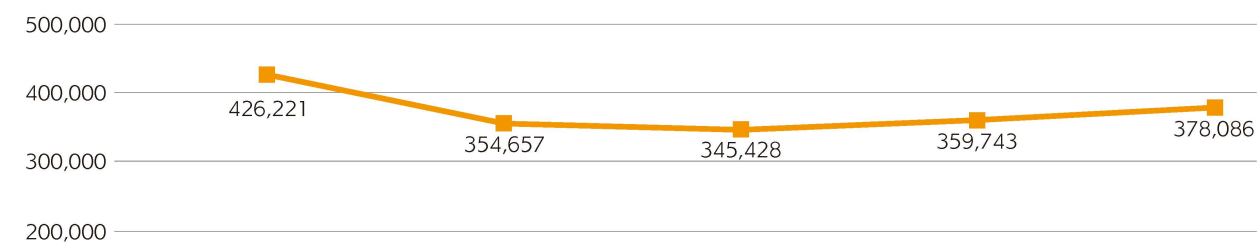
歳入歳出決算額

財政課調べ

(単位：万円)



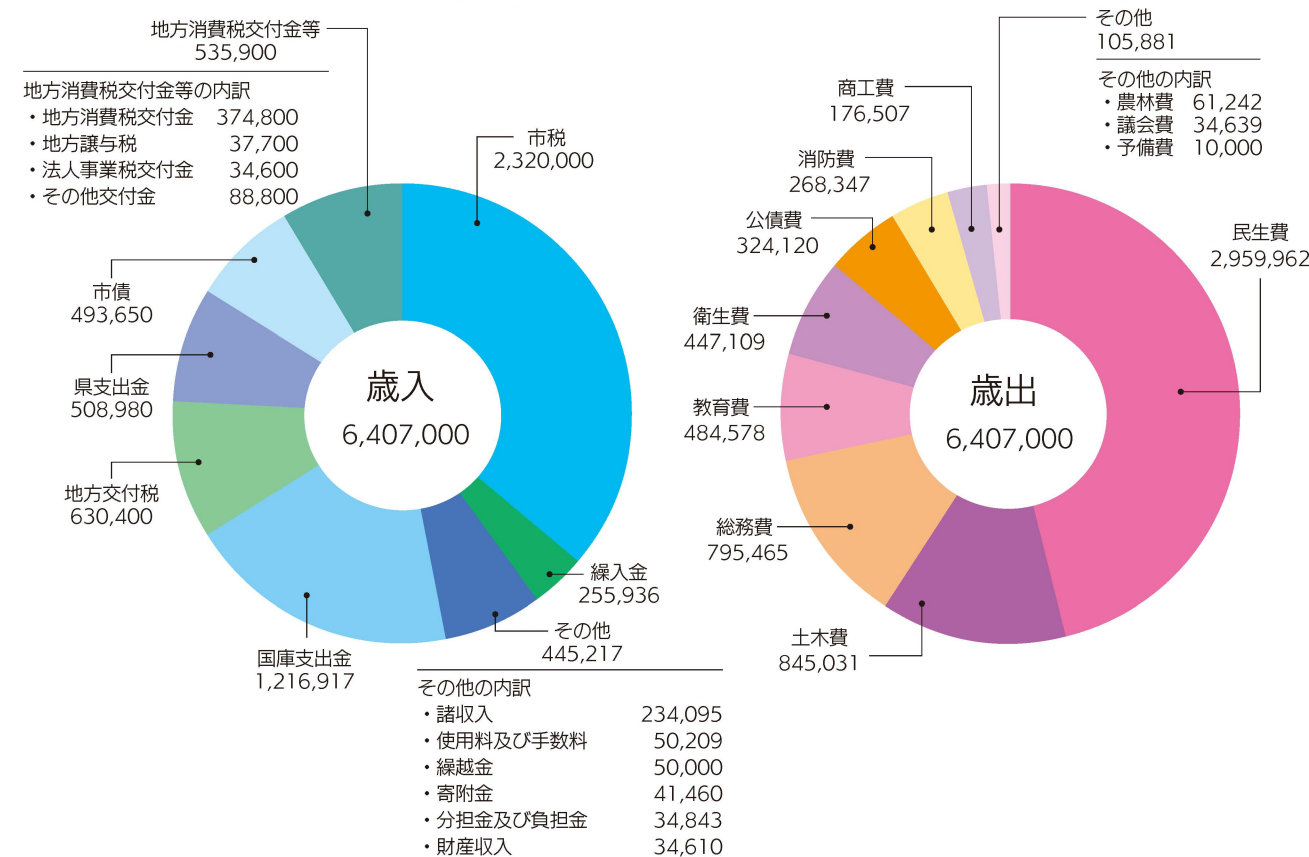
1人当たり歳出決算額 (単位：円)



令和7年度歳入歳出当初予算

(単位：万円)

財政課調べ



行政

歴代市長

歴順	氏名	任期
初代	中村新治	昭和30年 2 月 5 日～昭和32年 2 月16日
2	清水虎吉	昭和32年 3 月17日～昭和36年 3 月16日
3	加藤喜太郎	昭和36年 3 月17日～昭和40年 3 月16日
4	加藤喜太郎	昭和40年 3 月17日～昭和44年 3 月16日
5	栗原藤次	昭和44年 3 月17日～昭和48年 3 月16日
6	栗原藤次	昭和48年 3 月17日～昭和52年 3 月16日
7	栗原藤次	昭和52年 3 月17日～昭和56年 3 月16日
8	栗原藤次	昭和56年 3 月17日～昭和56年12月13日
9	柏木幹雄	昭和57年 1 月31日～昭和61年 1 月30日
10	柏木幹雄	昭和61年 1 月31日～平成 2 年 1 月30日

歴代助役

歴順	氏名	任期
初代	小島栄蔵	昭和30年 5 月23日～昭和32年 6 月10日
2	小島栄蔵	昭和33年 7 月 1 日～昭和36年 4 月 4 日
3	三浦辰之助	昭和37年 2 月 6 日～昭和41年 2 月 5 日
4	三浦辰之助	昭和41年 2 月 6 日～昭和41年 5 月 4 日
5	古屋伊久雄	昭和42年12月14日～昭和44年 3 月31日
6	清水虎吉	昭和44年 9 月20日～昭和48年 9 月19日
7	清水虎吉	昭和48年 9 月20日～昭和52年 9 月19日
8	柏木幹雄	昭和52年 9 月22日～昭和56年 9 月21日
9	柏木幹雄	昭和56年 9 月22日～昭和57年 1 月20日

歴代副市長

歴順	氏名	任期
初代	中村良之	平成19年 4 月 1 日～平成22年 8 月17日
2	高橋生志雄	平成20年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日
3	中村良之	平成22年 8 月18日～平成23年 3 月31日
4	金丸美彦	平成23年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日
5	高橋生志雄	平成24年 4 月 1 日～平成26年 1 月30日
6	八木優一	平成26年 4 月 1 日～平成30年 1 月30日
7	金丸美彦	平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日

歴代収入役

歴順	氏名	任期
初代	武 平吉	昭和30年 4 月 1 日～昭和34年 3 月31日
2	武 平吉	昭和34年 4 月 1 日～昭和38年 3 月31日
3	武 平吉	昭和38年 4 月 1 日～昭和39年12月31日
4	大森信孝	昭和40年 4 月16日～昭和44年 3 月16日
5	高橋 眞	昭和44年 9 月20日～昭和48年 9 月19日
6	高橋 眞	昭和48年 9 月20日～昭和52年 9 月19日
7	高橋 眞	昭和52年 9 月22日～昭和56年 9 月21日
8	平井 稔	昭和56年10月13日～昭和60年10月12日

歴順	氏名	任期
11	柏木幹雄	平成 2 年 1 月31日～平成 6 年 1 月30日
12	二宮忠夫	平成 6 年 1 月31日～平成10年 1 月30日
13	二宮忠夫	平成10年 1 月31日～平成14年 1 月30日
14	二宮忠夫	平成14年 1 月31日～平成18年 1 月30日
15	古谷義幸	平成18年 1 月31日～平成22年 1 月30日
16	古谷義幸	平成22年 1 月31日～平成26年 1 月30日
17	古谷義幸	平成26年 1 月31日～平成30年 1 月30日
18	高橋昌和	平成30年 1 月31日～令和 4 年 1 月30日
19	高橋昌和	令和 4 年 1 月31日～

歴順	氏名	任期
10	福住博一	昭和57年 4 月 1 日～昭和61年 3 月31日
11	福住博一	昭和61年 4 月 1 日～平成 2 年 3 月31日
12	二宮忠夫	平成 2 年 4 月 1 日～平成 5 年11月19日
13	北村博史	平成 6 年 4 月 1 日～平成10年 3 月31日
14	守屋 隆	平成10年 7 月 1 日～平成14年 6 月30日
15	森谷四郎	平成14年 7 月 1 日～平成18年 6 月30日
16	中村良之	平成18年 8 月18日～平成19年 3 月31日
平成19年4月1日から副市長制度		

歴順	氏名	任期
8	宮村慶和	平成28年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月31日
9	高村栄二	平成30年10月 4 日～令和 4 年10月 3 日
10	内田賢司	令和 2 年 9 月 1 日～令和 6 年 8 月31日
11	高橋正道	令和 4 年10月 5 日～
12	石原 学	令和 6 年 9 月 1 日～
平成20年4月1日から副市長2人制		

歴順	氏名	任期
9	平井 稔	昭和60年10月13日～昭和63年 3 月31日
10	宮永克巳	昭和63年 9 月24日～平成 4 年 9 月23日
11	宮永克巳	平成 4 年 9 月24日～平成 6 年 3 月31日
12	山口英夫	平成 6 年 4 月 1 日～平成10年 3 月31日
13	森谷四郎	平成10年 4 月 1 日～平成14年 3 月31日
14	片岡英太郎	平成14年 4 月 1 日～平成16年 5 月19日
15	中村良之	平成16年10月 1 日～平成18年 8 月17日
平成19年3月31日地方自治法の改正により廃止		

議会

歴代議長

歴順	氏名	任期
1	青木峰雄	昭和30年1月 7 日～昭和30年6月18日
2	仲原正作	昭和30年6月18日～昭和30年7月31日
3	小泉光三	昭和30年9月19日～昭和31年9月17日
4	小泉光三	昭和31年9月17日～昭和32年9月24日
5	青木吉長	昭和32年9月26日～昭和33年9月18日
6	青木吉長	昭和33年9月19日～昭和34年9月10日
7	青木吉長	昭和34年9月18日～昭和35年9月26日
8	青木吉長	昭和35年9月26日～昭和36年9月25日
9	奥津英一	昭和36年9月25日～昭和37年9月10日
10	奥津英一	昭和37年9月10日～昭和38年9月10日
11	大津茂雄	昭和38年9月18日～昭和39年9月17日
12	大津茂雄	昭和39年9月17日～昭和40年9月13日
13	関口 澄	昭和40年9月13日～昭和41年9月13日
14	小島栄蔵	昭和41年9月17日～昭和42年9月10日
15	諸星孝吉	昭和42年9月19日～昭和43年9月17日
16	奥津英一	昭和43年9月17日～昭和44年9月17日
17	青木吉長	昭和44年9月19日～昭和45年9月17日
18	久保寺恵太郎	昭和45年9月18日～昭和46年9月10日
19	仲原恵作	昭和46年9月20日～昭和47年9月18日
20	仲原恵作	昭和47年9月18日～昭和48年9月17日
21	仲原恵作	昭和48年9月17日～昭和49年9月18日
22	関八々雄	昭和49年9月18日～昭和50年9月10日
23	府川泰道	昭和50年9月19日～昭和51年9月20日
24	府川泰道	昭和51年9月20日～昭和52年9月21日
25	高橋卯七	昭和52年9月21日～昭和53年9月12日
26	秋山喜代次	昭和53年9月12日～昭和54年9月10日
27	杉山重雄	昭和54年9月18日～昭和55年9月25日
28	飯塚義一	昭和55年9月25日～昭和56年9月25日
29	秋山喜代次	昭和56年9月25日～昭和57年9月22日
30	栗原 彰	昭和57年9月22日～昭和58年9月10日
31	浅見 武	昭和58年9月20日～昭和59年9月10日
32	山口寅次	昭和59年9月10日～昭和60年9月11日
33	綾部喜代治	昭和60年9月11日～昭和61年9月25日
34	池田卯太郎	昭和61 年9月25日～昭和62年9月10日
35	草山忠文	昭和62年9月18日～昭和63年9月 5 日
36	古谷義幸	昭和63年9月 5 日～平成 元 年9月11日
37	相原富男	平成 元 年9月11日～平成 2 年9月 5 日
38	高橋文雄	平成 2 年9月 5 日～平成 3 年9月10日
39	諸星 光	平成 3 年9月19日～平成 4 年9月 9 日
40	柏木義晴	平成 4 年9月 9 日～平成 5 年9月 8 日
41	北村弥一郎	平成 5 年9月 8 日～平成 6 年9月 7 日
42	原 米司	平成 6 年9月 7 日～平成 7 年9月10日
43	中山英征	平成 7 年9月18日～平成 8 年9月27日
44	今井 敏	平成 8 年9月27日～平成 9 年9月 8 日
45	和田厚行	平成 9 年9月 8 日～平成10年9月 7 日
46	柏木義晴	平成10年9月 7 日～平成11年9月10日
47	宮川住雄	平成11年9月20日～平成12年9月 7 日
48	横溝泰世	平成12年9月 7 日～平成13年9月11日
49	阿蘇佳一	平成13年9月11日～平成14年9月 4 日
50	高橋徹夫	平成14年9月 4 日～平成15年9月10日
51	込山弘行	平成15年9月18日～平成16年9月 8 日
52	宮川住雄	平成16年9月 8 日～平成17年9月 8 日
53	三竹正義	平成17年9月 8 日～平成18年9月 7 日
54	風間正子	平成18年9月 7 日～平成19年9月10日
55	福森 登	平成19年9月18日～平成20年9月 3 日
56	山口金光	平成20年9月 3 日～平成21年9月 3 日
57	高橋文雄	平成21年9月 3 日～平成22年9月 2 日
58	平沢信子	平成22年9月 2 日～平成23年9月10日
59	高橋照雄	平成23年9月20日～平成24年9月 6 日
60	大野祐司	平成24年9月 6 日～平成25年9月 4 日
61	村上 茂	平成25年9月 4 日～平成26年9月 3 日
62	諸星 光	平成26年9月 3 日～平成27年9月10日
63	川口 薫	平成27年9月18日～平成29年9月 5 日
64	阿蘇佳一	平成29年9月 5 日～令和 元 年9月10日
65	今井 実	令和 元 年9月18日～令和 3 年9月 7 日
66	小菅基司	令和 3 年9月 7 日～令和 5 年9月10日
67	横山むらさき	令和 5 年9月19日～令和 7 年9月 3 日
68	相原 學	令和 7 年9月 3 日～

歴代副議長

歴順	氏名	任期
1	小島栄蔵	昭和30年1月 7 日～昭和30年5月18日
2	恩蔵泰助	昭和30年5月18日～昭和30年7月31日
3	川口喜助	昭和30年9月19日～昭和31年9月17日
4	青木吉長	昭和31年9月17日～昭和32年9月24日
5	大津茂雄	昭和32年9月26日～昭和33年9月18日
6	大津茂雄	昭和33年9月19日～昭和34年1月26日
7	高橋 眞	昭和34年3月28日～昭和34年9月10日
8	川口喜助	昭和34年9月18日～昭和35年9月26日
9	関口 澄	昭和35年9月26日～昭和36年9月25日
10	恩蔵泰助	昭和36年9月25日～昭和37年6月 4 日
11	草柳良造	昭和37年6月 4 日～昭和38年9月10日
12	府川泰道	昭和38年9月18日～昭和39年9月17日
13	府川泰道	昭和39年9月18日～昭和40年9月13日
14	三杉一雄	昭和40年9月13日～昭和41年9月17日
15	石垣千代	昭和41年9月22日～昭和42年9月10日
16	高橋義三	昭和42年9月20日～昭和43年9月17日
17	落新二郎	昭和43年9月17日～昭和43年9月26日
18	川口喜助	昭和43年9月26日～昭和44年9月19日
19	久保寺恵太郎	昭和44年9月19日～昭和45年9月18日
20	草山権平	昭和45年9月18日～昭和46年9月10日
21	府川泰道	昭和46年9月20日～昭和47年9月18日
22	府川泰道	昭和47年9月18日～昭和48年9月17日
23	栗原達夫	昭和48年9月18日～昭和49年9月18日
24	武 俊次	昭和49年9月18日～昭和50年9月10日
25	高橋徳寿	昭和50年9月19日～昭和51年9月20日
26	浅見 武	昭和51年9月20日～昭和52年9月21日
27	栗原 彰	昭和52年9月21日～昭和53年9月12日
28	山本 博	昭和53年9月12日～昭和54年9月10日
29	富川 清	昭和54年9月18日～昭和56年9月25日
30	小泉 功	昭和56年9月25日～昭和57年9月22日
31	高城昭夫	昭和57年9月22日～昭和58年9月10日
32	池田卯太郎	昭和58年9月20日～昭和59年9月10日
33	草山忠文	昭和59年9月10日～昭和60年9月19日
34	古谷義幸	昭和60年9月19日～昭和61年9月25日
35	栗原秀雄	昭和61年9月25日～昭和62年5月18日
36	山谷久万吉	昭和62年9月18日～昭和63年9月 5 日
37	原 米司	昭和63年9月 5 日～平成 元 年9月11日
38	柏木義晴	平成 元 年9月11日～平成 2 年9月 5 日
39	北村弥一郎	平成 2 年9月 5 日～平成 3 年9月10日
40	横溝泰世	平成 3 年9月19日～平成 4 年9月 9 日
41	中山英征	平成 4 年9月 9 日～平成 5 年9月 8 日
42	和田厚行	平成 5 年9月 8 日～平成 6 年9月 7 日
43	今井 敏	平成 6 年9月 7 日～平成 7 年9月10日
44	阿蘇佳一	平成 7 年9月18日～平成 8 年9月27日
45	福岡 豊	平成 8 年9月27日～平成 9 年9月 8 日
46	高橋徹夫	平成 9 年9月 8 日～平成10年9月 7 日
47	伴 和之	平成10年9月 7 日～平成11年9月10日
48	込山弘行	平成11年9月20日～平成12年9月 7 日
49	安藤 慶	平成12年9月 7 日～平成13年9月11日
50	原田 進	平成13年9月11日～平成14年9月 4 日
51	風間正子	平成14年9月 4 日～平成15年9月10日
52	三竹正義	平成15年9月18日～平成16年9月 8 日
53	福森 登	平成16年9月 8 日～平成17年9月 8 日
54	有馬静則	平成17年9月 8 日～平成18年9月 7 日
55	門屋 篤	平成18年9月 7 日～平成19年9月10日
56	大野祐司	平成19年9月18日～平成20年9月 3 日
57	高橋照雄	平成20年9月 3 日～平成21年9月 3 日
58	村上 茂	平成21年9月 3 日～平成22年9月 2 日
59	佐藤 敦	平成22年9月 2 日～平成23年9月10日
60	川口 薫	平成23年9月20日～平成24年9月 6 日
61	小菅基司	平成24年9月 6 日～平成25年9月 4 日
62	神倉寛明	平成25年9月 4 日～平成26年9月 3 日
63	今井 実	平成26年9月 3 日～平成27年9月10日
64	横山むらさき	平成27年9月18日～平成28年9月 5 日
65	古木勝久	平成28年9月 5 日～平成29年9月 5 日
66	相原 學	平成29年9月 5 日～平成30年9月 4 日
67	山下博己	平成30年9月 4 日～令和 元 年9月10日
68	木村真澄	令和 元 年9月18日～令和 2 年9月 7 日
69	露木順三	令和 2 年9月 7 日～令和 3 年9月 7 日
70	谷 和雄	令和 3 年9月 7 日～令和 4 年9月 6 日
71	八尋伸二	令和 4 年9月 6 日～令和 5 年9月10日
72	原 聡	令和 5 年9月19日～令和 7 年9月 3 日
73	中村英仁	令和 7 年9月 3 日～



秦野市全図

交通アクセス

秦野市には小田急線の駅が4駅あり、新宿まで電車で約60分。さらに東名・新東名高速道路が通じ、都心や県内各地への快適なアクセスを実現しています。

- 「新宿駅」から小田急線・特急ロマンスカーで55分
小田急線・急行で65分
- 「横浜駅」から相鉄線・海老名駅で乗り換え、
小田急線・急行で55分
- 「小田原駅」から小田急線・急行で20分
- 東名高速道路「東京IC」から車で約40分
- 東名高速道路「御殿場IC」から車で約25分
- 「羽田空港」から高速バスで約80分



秦野市 SNS 公式アカウントで
最新情報をご確認いただけます。



公式 X



市からのお知らせ、イベント情報、安全安心に関する情報などを発信しています。



公式 LINE



市からのお知らせ、イベント情報、安全安心に関する情報などを発信しています。



市公式 YouTube
「はだのモービク」



イベントなどを映像で公開しています。

凡 例	
	公園、自然
	博物館、美術館
	名水
	温泉

国土地理院発行の数値地図（国土基本情報）を加工して作成